

# 開放授業 募集要項

平成 29 年度後期(平成 29 年 9 月末～平成 30 年1月)



授業期間 : 平成 29 年 9 月 25 日(月)～平成 30 年 1 月 25 日(木)までを予定  
(1 科目につき、週 1 回・全 15 回の講義)

受講資格 : 18 歳以上の方

募集定員 : 各科目若干名(応募者が定員を上回った場合は抽選)

受講料 : 1 科目 5,000 円(別途、テキスト代の費用負担が生じる場合あり)

対象科目 : 別途定める科目 ※講義の日時・内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

申込方法 : 募集要項の「開放授業申込書」を持参、郵送または FAX で申込

申込先 : 宮崎公立大学 地域研究センター 開放授業窓口  
(TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773)

**申込締切 7 月 28 日(金) ※必着**

## 目次

1. 開放授業の概要	1
2. 受講までの流れ	1
3. 受講に際して	2
4. お問い合わせ先	3
5. 申込上の注意	4
6. 科目一覧（平成29年度後期開放授業）	5
7. 科目一覧早見表（平成29年度後期開放授業）	10



## 1. 開放授業の概要

開放授業とは、宮崎公立大学の講義の一部を地域住民の皆さまに公開し、学生と一緒に授業を受けることができる取り組みで、平成20年度から実施しています。

開放授業は大学の正規の授業を公開していますので、授業内容は受講者の方に特別に配慮したものではありません。授業中の質問等も学生を優先させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

## 2. 受講までの流れ

### ①受講希望科目の決定

- ・募集要項内の「6. 科目一覧（平成29年度後期開放授業）」（5～9ページ）をご参照の上、受講したい授業を決めてください。
- ・申込科目数に制限はありませんが、「6. 科目一覧（平成29年度後期開放授業）」に記載の募集人員を超えた場合、受講できない場合があります。

### ②必要書類の提出

- ・「開放授業申込書」を平成29年7月3日（月）から7月28日（金）までに下記の開放授業窓口<sup>①</sup>に直接提出していただくか、郵送（7月28日（金）必着）またはFAX（FAX番号：0985-20-4773）で申し込みください。（直接提出の場合は、平日の9時～17時）

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階  
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口 宛

### ③選定結果の通知

- ・募集人員に応じて抽選を行い、平成29年8月中旬頃に、申込者全員に選定結果を郵送によりお知らせする予定です。

### ④オリエンテーションの実施

- ・受講決定者を対象としたオリエンテーションを、平成29年9月中旬ごろに本学にて実施する予定です。内容は、特にご質問の多い時間割や休講・補講に関するを中心とした、受講に関する案内を予定しています。詳しくは別途ご案内します。

### ⑤受講料の納付

- ・受講料（5,000円）は、オリエンテーション実施日から該当する授業開始日までに、地域研究センター開放授業窓口にて現金で納付していただきます。なお、一旦納付された受講料は、理由のいかんを問わず、一切返還できませんのでご了承ください。

## ⑥受講者証の発行

- ・受講決定後、受講料を納入された方には、受講者証を発行しますので、学内では必ず携帯されるようお願いします。

## 3. 受講に際して

### ①受講者の義務

- ・受講者は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障を来さないよう努めていただくとともに、担当教員の指示に従ってください。

### ②受講の停止

- ・受講者が本学の諸規定に違反した場合、学内の秩序を乱した場合、受講者としてふさわしくない言動をした場合、または授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。

### ③単位認定について

- ・開放授業の受講者には、単位認定はできません。

### ④定期試験について

- ・定期試験の受験はできませんのでご了承ください。

### ⑤テキスト代について

- ・受講者が授業で使用するテキスト代は、受講料に含みません。別途、受講者の個人負担となります。テキストは受講決定後、学内で販売しますので、追ってご案内します。

### ⑥休講・補講について

- ・担当教員の出張等によって授業ができない場合は、休講になります。その際は、連絡事項を学内の掲示板（インフォメーションホール内）に掲示します。原則として、緊急な場合を除いて受講者の皆様への電話等による休講等の連絡は行いません。

- ・休講が生じた場合には、その都度補講を実施していきます。補講は、主として月・火・金の6時限（18:00～19:30）や11月～1月の土曜日に随時開講します。よって補講は、通常の時間割とは異なる曜日・時限で受講していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

#### ⑦連絡先の変更

・お申込み後、連絡先が変更になった場合は、開放授業窓口まで速やかにご連絡をお願いします。

#### ⑧通学方法

・車で通学される方は、大学の東側駐車場をご利用ください。東側駐車場に空きがない場合は、体育館北側駐車場をご利用ください。ただし、駐車場内及び敷地内でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

#### ⑨施設の利用

・受講者は、本学図書館、売店・食堂等の施設を利用することができます。

#### ⑩学内でのWi-Fi利用

・受講者は、申請を行うことで本学の学内Wi-Fiを利用することができます。

## 4. お問い合わせ先

開放授業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階  
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口  
TEL：0985-20-4772 / FAX：0985-20-4773  
執務時間：月～金曜（祝日を除く） 9:00～17:00

## 5. 申込上の注意

① 授業時間は下記のとおりです。

<午前>	1時限	8:50~10:20	<午後>	3時限	13:00~14:30
	2時限	10:30~12:00		4時限	14:40~16:10
				5時限	16:20~17:50
				6時限	18:00~19:30 (補講)

② 講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

③ 受講者の選定については、科目ごとの応募者が定員を上回った場合には、「抽選」により受講者を選定します。

④ 今回開講する16科目のうち、「日本国憲法入門」と「自然災害と防災・減災」を除く14科目が基幹科目として開講されます。基幹科目はカリキュラム上、専門基礎科目と呼ばれる専門的な知識の基礎を学んだことを前提に開講される科目であり、若干、内容が難しくなります。その点を踏まえて、受講をご検討ください。

## 6. 科目一覧 (平成29年度後期開放授業)

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<b>1 日本文学</b>	【楠田 剛士 助教】 水曜3時限 定員：5名
<b>【講義内容】</b> 講義では日本近代文学の代表的な作家（太宰治、谷崎潤一郎など）の短篇小説を取りあげます。これらの小説を同時代言説や文学理論との関連を視野に入れながら精読し、小説が内包する今日の問題を発見していきます。（昨年度と同じ講義内容です）	
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 受講生の声も講義に取り入れながら議論を深めていきます。	

<b>2 英語学概論</b>	【福田 稔 教授】 月曜5時限 定員：5名
<b>【講義内容】</b> この授業では英語学の基礎を学ぶことが大きな目標である。具体的には、次の事柄を到達目標とする。 (1) 英語学にはどのような研究分野があるのか理解する。 (2) それぞれの研究分野で、どのように英語を分析するのか理解する。 (3) 自分でも基礎的な英語の分析ができるようになる。 授業では、基本概念を分かりやすく解説すると同時に、最近の理論言語学の研究成果も紹介する。英語の例だけでなく、日本語の具体例も活用して理解を助ける。また、自ら考えて答えを発見する訓練をするために、授業中に問題を解いて頂く。また、既習事項の復習のための小テストも行う。	
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 授業で扱う英語の用例は中学～高校1年レベルです。英語を理論的にどのように分析するかという解説が中心ですので、英語の実践力を養成する内容ではなく、学術的な側面が極めて強い授業です。この授業は概論なので、必然的に学ぶ内容は毎年ほぼ同じです。開放授業の受講生も中間テストと期末テストを受験して、理解度をチェックして下さい。	

<b>3 現代イギリス小説</b>	【村上 幸太郎 助教】 木曜3時限 定員：5名
<b>【講義内容】</b> カズオ・イシグロ (Kazuo Ishiguro) の『日の名残り』 (The Remains of the Day, 1989) の読解を行います。以下の点に留意して授業を進めていきます。 ①現代のイギリス小説を読み、英語の読解力を高める。 ②英語の文法・構文への理解を深める。 ③小説の中で描かれるイギリスの文化や風習についての理解を深める。 ④作者の工夫を味わうことで、小説におけるさまざまな技法を理解する。 ⑤発表を行うことで、他者に自分の意見を伝えるコミュニケーション能力を高める。	
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 授業で扱う作品は英語学習者用の平易なものではありませんので、ある程度の英語力が求められます。分量も多いので予習も大変かと思われるかもしれませんが、文学作品を細かく読み進める楽しさを、皆さんと一緒に感じたいと思っています。 ※今年度より講義担当者が代わり、授業内容も新しいものになっております。	



※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

4	倫理学	【川瀬 和也 助教】水曜3時限 定員:5名
【講義内容】		
倫理学は、「われわれ人間はどのように生きるべきか」や「どのような行為をすることが道徳的に推奨されるのか」を探究する、哲学の一分野である。この科目では、功利主義、義務の倫理学、徳の倫理学という、現代の倫理学において有力と見なされている三つの立場を紹介し、倫理学を体系的に理解することを目指す。また、「倫理学はなぜ必要か」という問題について、倫理的な主張は主観的か、文化に相対的かといった観点から考える。		
【受講生へのメッセージ】		
倫理学は、「人間はどう生きるべきか」という実践的なテーマに、論理的な思考法を駆使して体系的にアプローチしようとする学問です。受講されると、自分自身の考え方を見つめなおすきっかけにもなると思います。		

5	宮崎地域研究	【永松 敦 教授】木曜1時限 定員:5名
【講義内容】		
宮崎県内を山・里・海に分けて各々の文化的特質を明らかにし、さらに、文化を用いた観光などの現代的課題についても考えていきます。具体的には、神楽・狩猟・景清伝説・和泉式部伝説・平家落人伝説・海の信仰・漁業・伝統的建造物群の保存と活用などを取り上げます。大学近隣で、八紘一宇の石塔のある下北方町は、『平家物語』に登場する景清の伝説の地で、墓石が伝えられています。また、都城市では人形浄瑠璃「出世景清」が伝承されています。このような伝承文化の意味を考えます。		
【受講生へのメッセージ】		
都城市山之口文弥節人形芝居（11月19日）、宮崎市内海、野島神社神楽（11月23日）昼神楽の見学をお勧めします。		

6	多文化主義（旧 異文化間コミュニケーションB）	【ネイサン ダッカー 准教授】月曜3時限 定員:3名
【講義内容】		
This class examines the question of multiculturalism. In simple terms this means what can we and governments do to help people from different cultures live alongside each other peacefully and happily. We discuss various issues such as educational policies, immigration policies, housing policies and so on as well as questions of business rules and ethical living.		
【受講生へのメッセージ】		
Each class will require some preparatory homework and involve watching and discussing video and other materials in class. Please be ready to join in with your classmates.		
※お申込みの際のご注意※		
1) 講義はすべて英語で行われます。		
2) 講義中に英語でのディスカッションを行いますので、必ず学生と一緒に積極的に参加していただくことになります。		
3) この科目の受講を希望する方は、①この科目に興味がある理由②自分の英語のレベルについて、英語200単語程度で作成し、開放授業申込書の受講希望理由の欄の注記に伴い、提出してください。		
4) この科目の講義で使用する教材の例として、インターネット上で下記のURLから動画を視聴し、ご自身で大まかな内容が理解できるかどうかを確認してください。 ■URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=fbqHz__AWYM">https://www.youtube.com/watch?v=fbqHz__AWYM</a>		
5) 講義中ディスカッションに参加できていない等、授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、途中で受講をお断りさせていただく場合もございます。（なお、この場合も納付済みの受講料5000円は返還いたしません。）		
◎上記の注意1～5についてご了承を頂いた上でお申込みいただきますよう、お願いいたします。		

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

7	情報社会学	【梅津 顕一郎 准教授】木曜2時限 定員:5名
【講義内容】		
言うまでもなく、今日われわれが経験する社会生活は、情報あるいは情報テクノロジーを抜きには考えられないものとなっています。では、私たちの今の生活はこれまでと具体的にどう違い、そしてどのような意味を持っているのでしょうか。現代人、特に若者層における「社会意識」の変化に着眼し、社会学の立場からこの問題を考えていきたいと思います。また今回はより広い時代史的視点も視野に入れながら、所謂「総力戦体制」(野口悠紀雄、山之内靖ら)の解体にも着目しつつ、日本社会のメンタリティがどう変化してきたのかについて議論を深めてゆきます。		
【受講生へのメッセージ】		
昨年に引き続き若者の社会的アイデンティティについて取り上げます。政治、消費行動、進路選択、人間関係に現れる現れる彼らの意識の在り方が、時代史的に何を意味し、どのような未来を予兆しているのかについて、具体的な事例に基づきながら考えてゆきます。		

8	広告文化論	【森津 千尋 准教授】月曜4時限 定員:3名
【講義内容】		
広告は、単に商業的な宣伝活動や媒体というだけではなく、現代消費社会を映し出す鏡だともいえます。本講義前半では、日本において「広告」がどのような過程を経て成立したのかについて考えます。さらに後半では、記号論的なアプローチから広告の意味構造を理解することにより、ジェンダーの問題やステレオタイプなど、現代社会の構造や文化について考えていきます。		
【受講生へのメッセージ】		
この講義は、ふだん何気なく見ている広告から「現代社会」の在り方を読み取っていくことを目的としています。講義は、受講者の理解の程度を見ながら進めていきますので、若干スケジュールが変わる場合もあります。		

9	国際社会学	【倉 真一 准教授】火曜1時限 定員:5名
【講義内容】		
本講義では国際社会学の基本的な考え方や理論について紹介するとともに、地球規模の社会変動と人々の持つリアリティやアイデンティティ、生活世界の変容といった事態に切り込んでみたい。国際社会学のなかでも中心的テーマとなっている「グローバル化」「エスニシティ」「国際移民」「ネーションとナショナリズム」を取り上げる。まとめに代えて「多文化主義」についても取り上げたい。 講義内容は昨年度のものに準ずるが、事例として最新の時事問題などを取り上げることはある。		
【受講生へのメッセージ】		
自分たちのアイデンティティや日々の生活の背景に、地球規模の社会変動が影響していることを「自覚」かつ「反省」(振り返り)しつつ、新たな社会(連帯)を「想像」し「構想」できる力がこれから大切になると思います。		

10	国際政治学	【田中 宏明 教授】木曜2時限 定員:5名
【講義内容】		
国際政治学は、変化の激しい国際政治を理解するために多くの分析方法を提供してきた。その一方で、国際政治学は、国際政治をどのように見るべきであるか、そして対外政策をいかに展開すべきかに関して、統一的な見解が共有されておらず、きわめて論争的である。むしろ論争的だからこそさまざまな見方や考え方が提示されてきた。 本講義で、「国際政治の理解」、「国際政治の世界」、「国際政治の見方」、「対外政策」についての知見を深めることで、教養あるグローバル人材に不可欠な国際的な視野を広げ、そして論理的思考能力とともに、問題解決能力の養成に努める。		
【受講生へのメッセージ】		
国際政治学は「戦争と平和の学問」です。国際政治の歴史を踏まえ、国際政治学の理論に迫りながら、平和を実現する方法を考えます。		

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

11	<b>国際法</b>	【田村 恵理子 准教授】月曜4時限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 国際法の基本的な成り立ちと歴史的展開を学び、かつ、主要な分野—領域、平和と武力行使、紛争解決、人権、経済、環境など—の基礎と争点について学びます。その中で、日本の政策や法律・制度を相対化し、新たな視点で考えることも試みます。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 「国際法」と一言でいってもその内容は多様で豊富です。国際関係はすべて何らかの国際法を基礎とし、関係しています。講義を通してその具体的側面に触れてください。		

12	<b>政治学</b>	【山口 裕司 教授】木曜3時限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 政治学の比較の基準に「ジェンダー（社会的文化的性差）」を据えます。本講義のねらいは、日本のジェンダー政治を他の先進諸国と比較しながら、日本の現状と課題を解明することにあります。特に、国会における女性議員の少なさが日本の大きな課題の一つです。このような授業を受講することで、ジェンダー政治学的な基礎教養を身に付けてもらいたいと思います。昨年度と同じ内容です。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 男女共同参画社会、フェミニズム、ジェンダー、に関心のある方、こうしたテーマと政治の関連を学びたい方は、とくに受講をおすすめします。テキストはありません。毎回、事前にプリントを配布します。		

13	<b>国際経営論</b>	【市村 陽亮 助教】月曜1時限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 国際経営の基礎的な知見を学び、グローバルな環境のなかで企業が行っている活動とはどのようなものなのかを、理解できるようになることが目標となります。グローバル経済はいたって当たり前の状態となりましたが、まだまだ問題が山積しています。また、すでに一部の企業だけがグローバルなのではなく、規模の大小に関わりなく、グローバル経済を考えざるをえません。国際経営とはなんなのか、どのように考えればよいのかを事例も用いながら、理解を進めていきたいと思います。 本講義では、特に小規模な企業のグローバル化が持つ意味や地方からグローバルに打って出ることを想定し、取り扱いたいと考えています。理論の話も当然ですが、実際の場面を想定して講義を行っていきたいと考えています。 ただし、講義の状況や学生の理解を鑑みて、上記の内容を変更する可能性はありますので、ご理解ください。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 本講義は特定の教科書を使用しません。毎回の講義で資料を配布しますので、基本的に授業の開始から出席していることを前提にしています。また、経営とはなにか、という基礎的な知見は前期の科目である「経営学」にて行っているため、経営学を受講している前提で話します。そのため、本講義のみを受講する場合は、経営学の入門書で良いので一読しておくことをお勧めいたします。		

14	<b>中国政治経済論</b>	【稲田 光朗 助教】金曜3時限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 本講義は、改革開放政策開始以来30年以上に渡る著しい中国の経済発展を中心的テーマとして取り上げ、開発経済、移行経済、国際貿易の観点から学習します。本講義では教科書と講義ノートを利用します。扱われるトピックスは中国における経済成長の過去と将来、計画経済から市場経済への移行、労働市場、外資系企業からの技術導入、国有企業の役割、WTO加盟と技術移転、民間企業の発展と産業集積、中国経済の今後の課題を含みます。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 講義では、中国経済を理解する上で必要なミクロ経済学やマクロ経済学、国際経済学の基礎理論や専門用語について、できる限り補足説明を行います。みなさまの講義への積極的な参加を歓迎します。なお、本年度の講義内容は昨年度のものと同じく変わりません。		

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

15	<b>日本国憲法入門</b>	【有馬 晋作 教授】 金曜2限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 現行憲法の基本理念である「平和主義、国民主権、基本的人権の尊重」を中心に、関係条文を紹介しながら、憲法と生活との関係を分かりやすく講義する。このことにより、今後、一国民、一市民として、自分を取り巻く社会問題など諸環境について、憲法の観点から把握する力をつけさせる。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 憲法は、難しく実際の生活とは縁遠いと思われがちですが、できるだけ、憲法を実際の生活に結び付けて講義しますので、興味がある人は受講してください。		

16	<b>自然災害と防災・減災</b>	【辻 利則 教授ほか】 月曜5時限 定員:5名
<b>【講義内容】</b> 本講義は、「命は自分で守る(自助)」、「地域で活動する(共助・協働)」、「災害発生のしくみを学ぶ(科学)」、「災害に関わる情報を知る(情報)」、「減災や危機管理の手法(予防・復興)」の5分野に大きく分けられる。災害の発生のしくみを理解し、防災・減災について行政・地域の課題、災害心理や情報伝達の困難さなどについて学び、災害時のみでなく、普段からの対策が必要であることを理解する講義です。この講義を受講し、一定の基準をパスすれば、防災士試験の受験資格を得ることができます。		
<b>【受講生へのメッセージ】</b> 自然災害はいつ起こるか分かりませんが、災害発生の仕組みや起きたときの心構えを学ぶことで被害から免れたり(防災)、被害を少なく(減災)できます。学生たちと一緒に学んでみませんか		
■受講に際してのご案内 1) テキストについて 受講料(5,000円)以外に、授業で使用するテキスト代3,000円が必要になります。 2) 「防災士」資格取得について 「防災士」資格を取得するには、以下の三つの条件を満たす必要があります。 ① 8割以上の出席があり、欠席した講義は録画視聴により受講し、全ての講義を受講していること。 ② 課題レポートを期限内に全て提出していること。 ③ 「防災士資格取得試験」(受験料3,000円が必要)に合格し、「防災士認証登録申請」(申請料5,000円が必要)を行い、地域消防署や日本赤十字社が行う「救急救命講習」の修了証があること。 (平成30年1月、宮崎公立大学にて、日本防災士機構により防災士資格取得試験が実施される予定)		

## 7. 科目一覧早見表（平成29年度後期開放授業）

### ①科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

No.	科目名	担当	時間割 (曜・時限)
1	日本文学	楠田	水・3
2	英語学概論	福田（稔）	月・5
3	現代イギリス小説	村上	木・3
4	倫理学	川瀬（和）	水・3
5	宮崎地域研究	永松（敦）	木・1
6	多文化主義	Ducker	月・3
7	情報社会学	梅津	木・2
8	広告文化論	森津	月・4

No.	科目名	担当	時間割 (曜・時限)
9	国際社会学	倉	火・1
10	国際政治学	田中（宏）	木・2
11	国際法	田村	月・4
12	政治学	山口	木・3
13	国際経営論	市村	月・1
14	中国政治経済論	稲田	金・3
15	日本国憲法入門	有馬	金・2
16	自然災害と防災・減災	辻	月・5

### ②授業時間

[午前]

1時限 8:50~10:20

2時限 10:30~12:00

[午後]

3時限 13:00~14:30

4時限 14:40~16:10

5時限 16:20~17:50

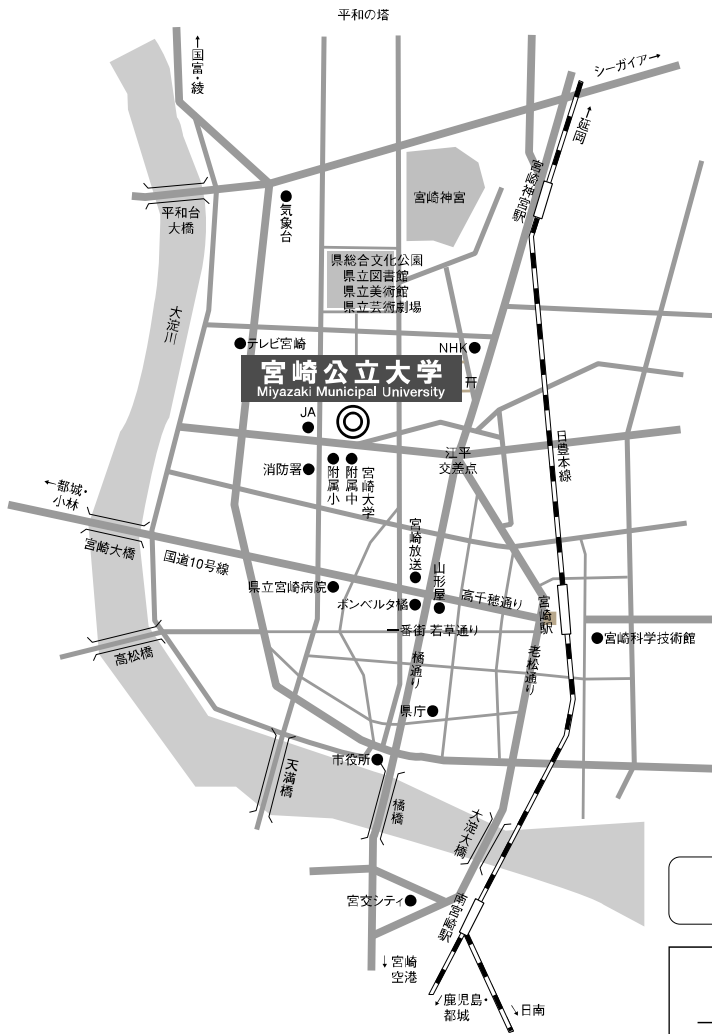
6時限 18:00~19:30 (補講)

### ③曜日別一覧

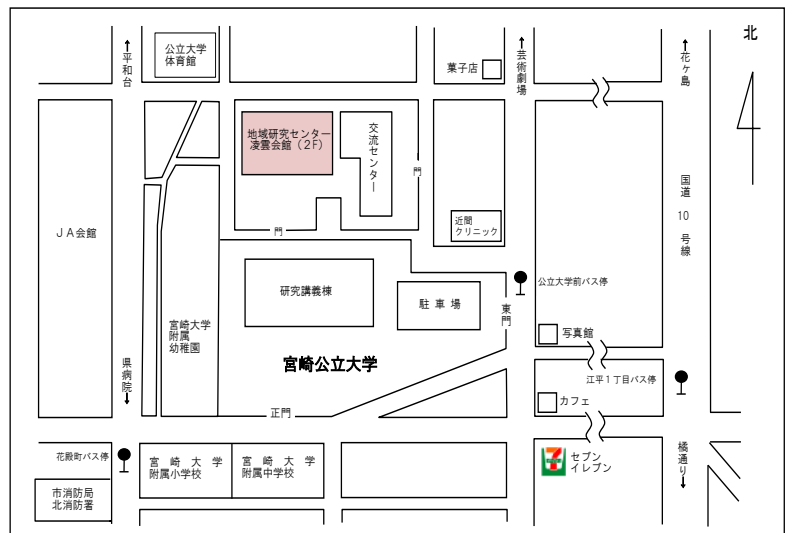
	月	火	水	木	金
1	国際経営論	国際社会学		宮崎地域研究	
2				情報社会学	日本国憲法入門
				国際政治学	
3	多文化主義		日本文学	政治学	中国政治経済論
			倫理学	現代イギリス小説	
4	広告文化論				
	国際法				
5	自然災害と防災・減災				
	英語学概論				



# 宮崎公立大学位置図



## 拡大図



### [交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス 宮崎交通バスにて宮交シティ(バスセンター)から約30分  
(大学最寄りのバス停は「花殿町」または「公立大学前」または「江平一丁目」)

宮崎公立大学 地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階

TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773